

現地を見て来ました！

今議会の案件や地震津波対策の現状把握のため、平成27年6月12日、両常任委員会の日程を調整し、全議員で町内に完成している避難道、避難タワー設置予定地、工事中の金上野トンネル等の現地視察を行いました。



有井川の避難道にて説明をうける。

佐賀地区避難タワーの予定地にて説明を受ける。(右写真)
 タワーは、3階建てで国内最大級。3階の床の高さが22m、屋上高は25m。階段とスロープを併設し、より上がりやすくしている。(3Pにイメージ図)



通称パイロット(佐賀上灘山)の残土処理場(左写真中段右側)の状況や今後の計画などの説明をうける。現在は、片坂バイパス工事のトンネルの残土を運び込んでおり、今後高規格道路工事に対応していくとのことです。



金上野トンネル(1916m)の入口(右・四万十町側)にて工事の説明を受けた後、トンネル内を出口(左・黒潮町側)まで視察。なお、工期は、平成28年3月25日まで。

